

大田市立池田小学校で「心に残る文化財子ども塾」を行いました

1. 活動の概要

6月8日(木)、大田市立池田小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催し、島根県文化財課世界遺産室と大田市教育委員会の職員がおじゃまし、元気な5、6年生 10 名のみなさんと楽しく活動しました。

はじめに、土器や遺跡が伝える先人の生活についての学習です。講師から、学校の近くで横穴墓という古墳時代の豪族の墓が見つかったことや、大田市には 500 をこえる遺跡があることを聞き、みんなびっくり。そして、大田市等内の遺跡から見つかった土器や石器をじかにさわって興奮。教科書には書いてない身近な地域の歴史にふれることができました。

続いて、奈良の大仏の実際の大きさを体感する学習です。「スピードより、仕上がりがきれいになることを目指す」と、はじめにみんなで決めてから実物大の大仏パネルの組み立てに取りかかりました。声をかけ合い、全員で協力し、最後に開眼の墨入れをして完成！完成後は、2階から全体を見おろしたり、手のひらの上で寝そべったり、写真を撮ったり、と、思い思いに大仏の巨大さを実感しました。また、講師が奈良の大仏にまつわるお話をすると、子ども達からたくさんの質問がとびだし、興味や関心が一層高まったようでした。

池田小学校の5、6年生のみなさん、ありがとうございました。

2. 活動の様子



本物の縄文土器に興味深々です



どうやって使うのかな？市内の遺跡の出土品です



石器はどうやって使ったのかな



奈良の大仏についてたくさんの質問がでました



大仏が描かれた1m四方のシートをつなぎあわせませす



丁寧に仕上げの作業です



最後は奈良時代にならって開眼の儀式です



完成した大仏の上で大きさを実感しました

3. 子ども塾を終えて

1) 児童の皆さんのアンケートから…

- ・土器などをさわって、昔の人はすごいと思った。
- ・弥生土器や縄文土器のことで、教科書に書いていないことを知りました。
- ・土器や矢じりにはじめて触って興奮した。
- ・大仏パネルを作るとき、並べたりするのが楽しかった。
- ・大仏パネルをみんなと楽しく作って、最後に上から見て、がんばってよかったな、と思った。
- ・大仏パネルは、天皇の位をめぐってけんかもしたけど、みんなと協力をしてできて楽しかった。(4人)
- ・大仏パネルをつなげてみたら、とてもでかくて、こんなに大きいんだ、ということがわかってよかった。
- ・先生方のはなしが楽しかった。

2) 担任の先生から…

- ・専門家の方の指導や解説のもとで、本物に触れたり体験的に学習したりすることで、児童の探究心が高まっていた。